

クボタケミックス貼付型内副管継手（スマートクロス）施工手順書

1. 付属品 ースマートクロス本体1個に対しー

- (1) 角座金（角40mm×内φ11mm×t2mm）4枚
 - (2) 全ねじボルト（M10×50mm）4本
 - (3) グリップアンカー（めねじ型M10×30mm）4本
 - (4) ナット（M10）4本
 - (5) SUSバンド1個
 - (6) プチルゴム（幅30mm×t1mm×長さ525 or 325mm）1個
- ・(1)～(4)はSUS製です。
・副管径φ100品は、1梱包当たり2個入です。

2. 施工上の注意点

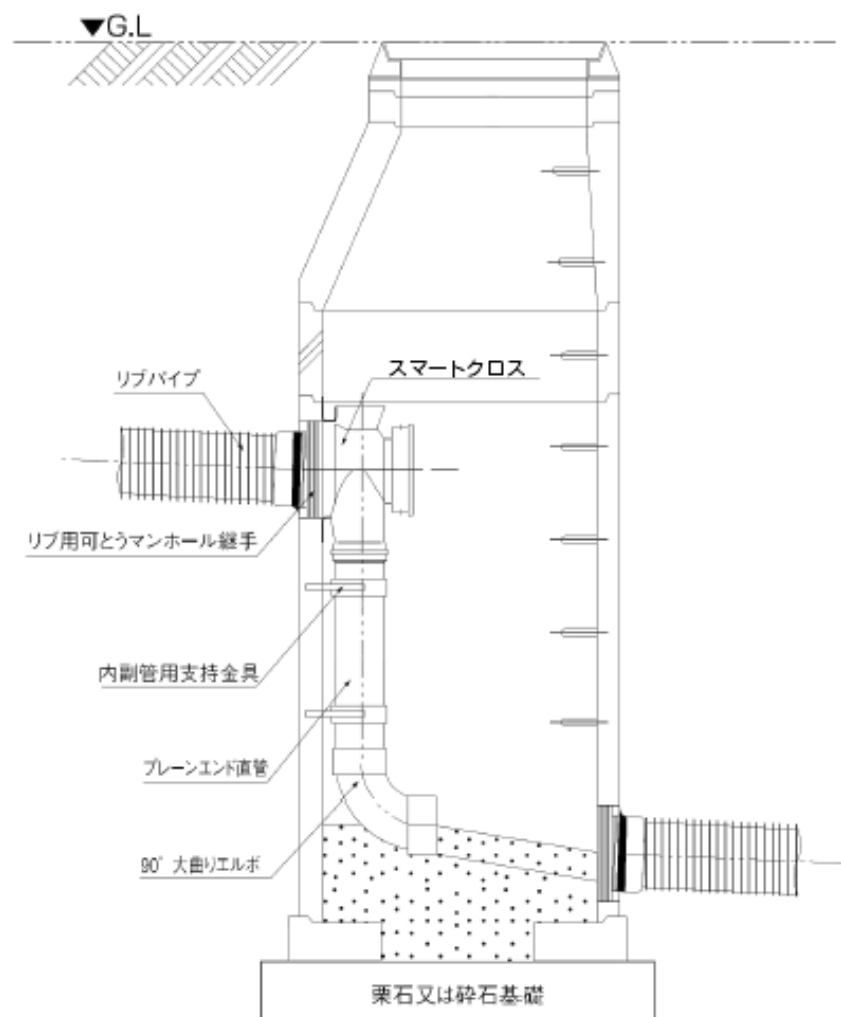
- (1) 新設時に本管をマンホールに取付ける際は、管端面をマンホール内壁面に合わせてください。
- (2) 本製品の設置位置は、本管軸と製品中心をあわせてください。
- (3) マンホール穿孔部に充てんしたモルタル部には、グリップアンカーを打ちこまないでください。
- (4) グリップアンカー打込み時には、ネジに損傷を与えないように打ちこみ棒を使用するなど、注意が必要です。
- (5) スマートクロス本体に副管部（プレーンエンド直管）を装着した後、すぐに下方へ荷重を与えないでください。副管部が抜ける恐れがあります。
- (6) スマートクロス本体とマンホール内壁の間に汚水溜りが生じる場合、タフボンド等で隙間を充填してください。

3. 本管として使用可能なパイプ

本管	副管径	スマートクロス	
		φ100品	φ150品
φ150	VU管	○	○
	リブパイプ	○	○
	ヒューム管	○	○
φ200	VU管	×	○
	リブパイプ	×	○
	ヒューム管	×	○
φ250	VU管	×	○
	リブパイプ	×	×
	ヒューム管	×	×

○：使用可能 ×：使用不可

4. スマートクロス標準配管例

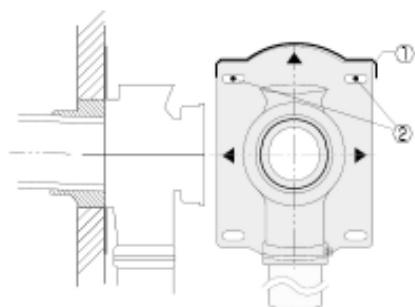


※施工は裏面の作業手順に従って行ってください。

株式会社クボタケミックス

5. 作業手順

(1) 取付け位置の墨出し



- ・本管軸と製品の中心が合うように製品を仮置きし、くら上部にマーキングします。(図①)
- ・上部グリップアンカーの下穴の位置をマーキングします。(図②)
- ※マーキング位置は横長穴の中心部を狙ってください。

(2) 上部グリップアンカーの下穴穿孔



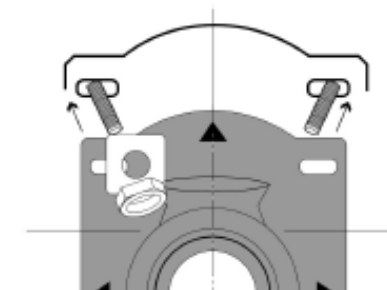
- ・マーキング位置に、 $\phi 14.5\text{mm}$ のドリルで深さ35mmの下穴をあけます。

(3) 上部グリップアンカーのセット



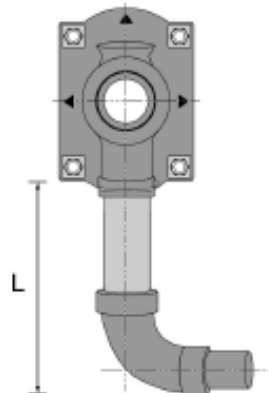
- ・穿孔位置に、グリップアンカー(M10)を打ち込み、全ねじボルトを差しこみます。(グリップアンカー及び全ねじボルトは付属品)

(4) 製品の仮合わせと下部グリップアンカーのセット



- ・全ねじボルトに製品を吊るし、角座金、ナットで仮止めします。製品が水平に設置されていることを確認し、上部グリップアンカーと同様の手順で下部グリップアンカーの下穴を穿孔します。

(5) 立上り部長さ測定と組立



- ・立上り部の長さを測定し、副管部(ブレンエンド直管)を必要長さに切断します。その後、90度曲管に接着接合します。

(6) ブチルゴムの取付けと副管部の挿入



- ・副管部先端にブチルゴムを取付けます。その後、滑剤(Vソープ)を塗布し、副管部を本体副管受口に挿入します。
- ※ブチルゴムは必ず副管部先端に取付けてください。取付位置がずれると副管部が脱落する恐れがあります。

(7) 本体と副管部の固定



- ・副管部を本体副管受口の奥まで挿入した状態で、SUSバンドを締めこみます。その後、副管部が本体から抜けかないか確認してください。

(8) 本体の取付け



- ・全ねじボルトに製品を吊るし、角座金、ナットでマンホール内壁に取付けます。(締付トルク:10~15N・m程度)